施設・居住系サービス事業者運営状況調査について

1 調査概要

(1) 対 象施設(平成30年度運営施設2,404箇所、139,832定員)

施設種別	施設数	定員数
① 特別養護老人ホーム	529	47,746
② 介護老人保健施設	199	21,567
③ 養護老人ホーム	32	3,411
④ 軽費老人ホーム(A・B型、ケアハウス(都市型含))	127	4,033
⑤ 有料老人ホーム (住宅型、混合型、介護専用型)	873	51,982
⑥ 認知症高齢者グループホーム	643	11,093

- (2) 調査方法: 調査委託(郵送調査、ヒアリング調査)
- (3) 調査基準日: 平成31年3月31日
- (4) 分析方法: 単純集計及びクロス集計(地域別、規模別など)

2 調査項目(基本項目)

1 施設の基本状況	①施設名 ②所在地 ③介護事業者番号 など
2 利用状況全般	①定員 ②入所·退所の状況 ③入所期間 ④入居前状況等 ⑤ 入所者の状況 ⑥要介護度 ⑦施設のケアや取組状況 ⑧認知 症に対する取組 ⑨面会状況 など
3 職員の状況	①職員の状況(職種、勤続年数、給与等)②介護職の負担軽減 策 ③資格取得支援 ④研修 ⑤人材育成 など
4 地域との連携	①区市町村等との連携 ②防災訓練 など
5 施設整備	①施設面積 ②土地建物利用状況 ③併設施設 ④施設建替積立資金等 ⑤人件費積立金 ⑥その他積立金 など
6 意見等	①運営上の課題について

2 調査項目(各論項目)

- (1) 各施設に特有な調査項目
- ① 特別養護老人ホーム
 - 看取りの取組状況と課題の把握など
- ②介護老人保健施設
 - •在宅復帰への取組状況と課題の把握など
- ③ 養護老人ホーム
 - 介護保険の特定施設の取組状況、取得への課題など
- ④軽費老人ホーム(都市型軽費老人ホーム)
 - 介護サービスへ移行する際の介護保険サービスの連携など
- ⑤ 有料老人ホーム
 - ・入居時の前払金の有無、保全方法や保全措置等の把握など
- ⑥ 認知症高齢者グループホーム
 - 利用料金や地域の自治会との連携などの取組状況など
- (2) 経営状況調査
 - ■施設規模別の経営実態の把握
 - ・施設定員、施設形態(従来型、ユニット型)毎の経営収支を分析
 - ■設立年数別の利用、財務状況の把握
 - ・施設の経過年数毎の利用状況と経営収支を分析
 - ■介護報酬改定等による影響の把握
 - ・報酬減額や各加算の取得状況を把握し財務に及ぼす影響を分析

3 スケジュール(予定)

	~5月	6月~7月	8月~9月	10月~2月	3月
調査票等の作成	〇調査票作成 〇調査票等の印刷				
第1回調査実施		〇調査開始(期間1ヶ月)			
(小規模特養/都市型CH)		○ヒアリング ○問い合わせ対応			
第2回調査実施			〇調査開始(期間1ヶ月半)		
(第1回調査対象以外)			〇ヒアリング 〇問い合せ対応		
調査票の回収・結果報告		〇単純集計表作成	〇分析開始 〇第1回調査速報完成	〇第2回調査速報完成 〇最終報告書作成	〇最終報告書完成